平成28年度　富士見中学校（国語）　解答・解説

解答

一

問一　それは、協
問二　X群　ウ　Y群　イ
問三　みえない境界を設定すること。
問四　雇われた側
問五　Ⅰ　オ　Ⅱ　イ　Ⅲ　カ　Ⅳ　エ
問六　エ
問七　ウ
問八　エ
問九　ア　2　イ　1　ウ　1　エ　2　オ　2
問十　a　類型　b　応対　c　業績　d　優位　e　生成

二

問一　a　厳〔しい〕　b　就農　c　暖〔かく〕　d　梅雨　e　単純
問二　代かき・畦塗り
問三　エ
問四　イ
問五　耕耘機・トラクター・代かきローター・田植機
問六　株を売買したり、立派な会社の会社員になったり、自分が好きなことを仕事にしたりする生活。
問七　種籾が苗になり丈が伸びて稲に成長し、穂が出て花が咲き実を結んで子孫を残すところ。
問八　⑥　イ　⑦　ア　⑨　ウ
問九　エ
問十　ウ
問十一　イ
問十二　米作りは実際にやってみたら大変で、途中で投げ出してしまうかもしれず心配だから。

解説

一

問三　ひとつ目は、「給料を下げるとかメンバーとしての資格を奪って排除する」といった「処罰的な方法」とあります。ふたつ目は、「自主的・積極的に協力させる『境界を設定する方法』」とあり、境界を設定することについての説明が続いていきます。そして本文の最後の方で「みえない境界を設定」し、「居場所ができた感じがする」と、「居場所を確保するために、自主的に協力するようになります」とまとめられています。

二

問七　続く部分で、ばあちゃんは「小さな種籾から始まる」「それがやがて苗になり、穂が伸びて、いっぱいにお米が実る」という米の一生を、「（苗が）ゆりかごに入っている」「苗たちは『田んぼ』という名の学校に上がった小学生」「稲は青年期」「稲たちは自然に結婚をする」「子孫を残して、お米の一生は終わる」と、人の一生にたとえて語っています。

問十二　米作りをやってみたい、「けれど、言ってしまったらもうあとに引けない：実際やってみたらあまりにも大変で、途中で逃げ出すようなことになったら格好悪い」とためらっていることが描写されています。